

今年度の学校運営について

虹別小学校

1 学校評価アンケート結果より

本校では、令和3年12月に保護者アンケート、児童アンケート、教職員自己評価を行いました。

	保護者	4点満点	児童	4点満点
確かな学力の育成	①学校は、お子さんの学習の困り感を把握し、必要な学力を身につけさせています。	3.3	①学校の勉強はよくわかります。	3.4
	②お子さんは、家庭学習（宿題を含む）に取り組んでいます。	3.1	②自分から進んで、家庭学習に取り組んでいます。	2.8
	③お子さんは、わからないことを調べるために辞書や本、インターネット等が有効であることを知っています。	3.1	③先生や友達の話聞いています。	3.6
	④お子さんは、自分の考えを相手（家族以外の人達）に伝えています。	3.1	④わからないことを調べる方法（辞書・本・インターネット等）を知っています。	3.5
	⑤学校は、教育活動に地域の自然や人材、施設などを積極的に取り入れています。※社会見学や体験学習等	3.8	⑤自分の考えを、先生や友達に伝えています。	3.2
豊かな心の育成	⑥お子さんは、（家庭で）読書を楽しんでいます。	2.6	⑥学習の計画を立てたり、ふり返ったりしています。	3.3
	⑦学校はお子さんの良いところを認め、伸ばそうとしています。	3.5	⑦「道徳」の時間に、自分のことをふり返って考えています。	3.2
	⑧お子さんは、友達や他の人に思いやりを持って接しています。	3.4	⑧家でも読書をしています。	2.7
	⑨学校はいじめの未然防止、早期発見、早期解決に努めています。	3.3	⑨自分には、よいところがあります。	3.1
	⑩お子さんは、公共施設や病院、お店などできまりやマナーを守り行動しています。	3.4	⑩友達やほかの人のことを考えて行動しています。	3.3
	⑪お子さんは、「あいさつ」や「返事」がしっかりできます。	3.4	⑪学校や公共施設、お店などできまりやマナーを守り行動しています。	3.5
	⑫お子さんは、（家族以外の人達への）言葉づかいに気をつけています。	2.9	⑫「あいさつ」や「へんじ」はしっかりしています。	3.6
健やかな体の育成	⑬お子さんは、進んで運動したり、遊んだりして身体を動かしています。	3.1	⑬言葉づかいに気をつけています。	3.1
	⑭お子さんは、食べ物や大事にする感謝の気持ちや食事のマナーが身についています。	3	⑭進んで運動したり、遊んだりして身体を動かしています。	3.4
	⑮お子さんは、早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身につきました。	3.2	⑮食べ物や大事にする感謝の心を持ち、食事のマナーに気をつけています。	3.3
	⑯お子さんは、社会のルールを守り、安全を考えて行動しています。	3.3	⑯健康に気をつけています。※けがや病気の予防、食事のバランス、うがい・手洗い・歯みがき等	3.6
その他	⑰学校は、子ども一人ひとりを大切にし、悩みや問題を解決するために努力をしています。※教育相談や個別面談等	3.5	⑰「早ね・早起き・朝ごはん」を心がけています。	3.2
	⑱学校は、学校・学級だより等で行事や子ども達の様子をわかりやすく説明しています。	3.6	⑱地震・火事・不審者など危険なことから、自分の身を守る行動を分かっています。	3.8
	⑲学校は懇談会や家庭訪問、お便り等を通して、保護者との連携を適切に図っています。	3.6	⑲先生は、あなたの話を聞いたり、相談ののってくれます。	3.8
			⑳おたよりを家の人にきちんと渡しています。	3.5

確かな学力の育成（知）

児童③ 「自分から進んで、家庭学習に取り組んでいます。」

児童アンケートでは家庭学習の項目の数値が低いです。6年生の素晴らしい自学の取り組みを下級生に紹介することで、家庭学習に困難を感じている児童に具体的な方法を例示し、支援に繋げていきたいと考えています。

児童アンケート「学習の計画を立てたり、ふり返ったりしています。」は、1学期のアンケートと比べると数値が上がっています。今後も、ふり返りを大切にした学習指導に力を入れ、その成果が児童の結果に表れ自信につながるよう努めて参ります。

豊かな心の育成（徳）

保護者② 「お子さんは、（家庭で）読書を楽しんでいます。」

児童③ 「家でも読書を楽しんでいます。」

保護者⑫ 「お子さんは、（家庭以外の人達への）言葉づかいに気を付けています。」

保護者アンケート、児童アンケート共に「読書」に係る項目の数値が低く、学校では課題として捉えています。子供達が本に親しみ、読書が好きになるよう、今後も家読週間等の取組に努めて参ります。「言葉づかい」の項目も若干数値が下がっています。各学級では、「気持ちのいい言葉」について話し合い、子供達から出てきた言葉を掲示しています。今後も、挨拶や敬語等、時と場に応じた適切な言葉づかいが身につくように指導していきます。

健やかな体の育成（体）

児童アンケート「進んで運動したり、遊んだりして身体を動かしています」の数値が向上しています。新体力テストの結果から、本校の児童は「持久力」に課題が見られます。その対策として、今年1年間を通じて「なわとび day」の取組を行ってきました。各学年、週に10分程度体育館で個々の目標に向けて縄跳びに挑戦しています。また、コロナが落ち着いていた時期には、外で多くの子供達が学年入り混じって遊んでいる姿が多く見られました。今後も、子供達が運動する喜びを実感できるような取組を続けてまいります。

2 全国学力・学習状況調査より

令和3年度全国学力・学習状況調査は、5月に実施されました。全国、全道との比較や分析結果を基に、本校の傾向や課題についてお知らせいたします。

【学力調査から】

○国語の正答率は、北海道平均も全国平均も上回っています。

特に「読むこと」の領域は全国平均より10ポイント以上高く、本校児童の強みとなっています。記述式問題は、無回答が少なく、誤答した児童も、文章を最後まで書ききっていました。今後も、目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わる書き表し方を工夫する力が身につくように、指導してまいります。

○算数の正答率は、北海道平均を上回り、ほぼ全国平均と同じです。

正答率100%の設定問が複数題あり、どの領域にもまたがって、基礎基本の学力は確実に定着していることがうかがえます。しかし、実生活に活用している設定の問題を読み解く力に課題がみられます。単に「読み取る」というより、根拠を問われると弱く、適用場面であることをイメージしながら読み進めることが難しいのかもかもしれません。「この考え方は、こういう時に使える。」という実感が持てるような授業展開の工夫が、今後は大切になっていくと考えます。研究授業や校内研修を通じて、全教職員で共通理解を図ってまいります。

【質問紙調査から】

○「携帯電話、スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と守っていますか。」という質問では、40%以上の児童が「守れていない」と回答しています。全国、北海道では20%未満である為、本校の大きな課題であるとしてとらえています。メディアに触れる時間として2時間未満を推奨していますが、それ以上の児童が65%となっています。長時間のメディア利用による脳への悪影響等、客観的なデータを保護者にも配付し、メディア使用の約束を守ることの大切さについて伝えていきたいと思ひます。

○自分には良いところがあると、自信を持って回答する児童の割合が少ないです。道徳教育や、異年齢の交流(虹っこ班活動)等、自己有用感を高める取り組みに努めて参ります。

2 全国体力・運動能力、運動習慣等調査より

令和3年7月、全校児童を対象に実施。

【標茶町立虹別小学校】			男子						女子									
			握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
			kg	回	cm	点	回	秒	cm	m	kg	回	cm	点	回	秒	cm	m
小学校	第1学年	全国との比較	↑	↑	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↑	↓	↑	↑	↓	↓	↑	↑
	第2学年	全国との比較	↑	↑	↑	↑	↑	↓	↑	↓	↑	↓	↓	↓	↑	↓	↑	↓
	第3学年	全国との比較	↑	↑	↑	↑	↓	↓	↓	↓	↑	↓	↑	↑	↑	↓	↑	↑
	第4学年	全国との比較	↑	↑	↑	↑	↓	↓	↑	↓	↑	↓	↑	↑	↑	↑	↑	↑
	第5学年	全国との比較	↑	↑	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↑	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	第6学年	全国との比較	↑	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↑	↑	↓	↓	↑	↓	↓	↓

※令和元年度全国体力運動能力調査との比較。青は全国以上、赤は全国から5ポイント以上マイナス。

(1)実技調査、質問紙調査から見出された学校の傾向(傾向や課題・よさ、改善が見られた点、課題等)

※本校は少人数のため平均値に1人あたりが占める割合が大きい。一概に平均値だけでは判断できないが、ある程度の傾向はつむことができる。

○握力では、全ての学年で全国平均を上回っていて、筋力面は平均に達している児童が多いと言えます。

他に、男子は上体起こし、女子は立ち幅跳びの数値が高かったです。

○一方、全国平均を大きく下回っているのは、男子の20mシャトルラン、50m走、ソフトボール投げ、女子の上体起こし、50m走です。また、学年が上がると全国平均を下回る項目が多くなっています。

○過去の全国平均と比べ、それぞれ差が出ているものの、ひと際目立つのが20mシャトルランです。動きを持続する力、粘り強さに課題がみられます。

(2) 課題に対する今後の取り組みについて

① 縄跳びデーの継続

児童が目標を持って楽しく、継続的に運動することがたのしめる機会として、今後も継続して取り組みます。

② 日常での取り組み

- ・正しい座り方(立腰)を掲示し、意識するように声掛けする。(まずは、朝の会・帰りの会から)
- ・新型コロナの感染状況にもよりますが、休み時間は外で鬼ごっこなど、教職員も一緒に子供達と遊び、身体を動かす喜びを感じてもらう。

③ 遠足の計画・実施

来年度は、バス遠足として和琴半島の散策を5月に実施予定。